

行政事例No.(2)-27

【成功事例】

事例項目	災害用備蓄物資の有効活用について ＜消費期限が迫った災害用備蓄物資の防災訓練での提供＞
事例発生時期	平成19(2007)年度
担当課	総務部 危機管理課
事例概要	<p>①これまで、市は、常時、備蓄している災害用備蓄物資のうち、消費期限が迫っているアルファ化米を有効に活用するため、市が実施する総合防災訓練時に、炊き出し訓練用として、市民に提供を行ってきた。</p> <p>②平成19(2007)年度から、自治会や校区で行われる防災訓練の実施時においても、自主防災組織の充実・強化を目的に、炊き出し訓練用として、消費期限が迫っているアルファ化米を提供するとともに、乾パンを試食用として提供した。</p> <p>③参加されている市民からの評判もよく、消費期限が迫っているアルファ化米を活用できることから、以後、自治会や校区において防災訓練が行われる時には、これらの備蓄物資の提供を行っている。</p>
事業効果など	<ul style="list-style-type: none"> ○アルファ化米等の備蓄物資の普及・啓発に役立っている。 ○備蓄物資を廃棄処分することなく、資源の有効活用が図られている。